テーマ・記念講演講師が決まりました!!

2015年10月19日発行

あいち学童保育研究集会 ニュースNo.2

テーマ

学童保育でつながる輪　～形のない宝物～

◎記念講演講師◎

高垣 忠一郎 さん（心理臨床家）

1944 年高知県生まれ。1968 年京都大学教育学部卒。専攻は臨床心理学。
京都大学助手、大阪電通大学教授、立命館大学大学院教授などを歴任（2014 年 3 月退職）。
登校拒否・不登校問題全国連絡会世話人代表。著書:『生きづらい時代と自己肯定感ー「自分が自分であって大丈夫」って?（新日本出版）他。『日本の学童ほいく誌』執筆:2011 年 1 月号 子どもの育ちで、いま、とても大事なこと、他。

決定!!

日　時：2016年３月6日（日）9:30～16:00

会　場：南山高校 男子部（名古屋市昭和区五軒家町６番地）
地下鉄鶴舞線「いりなか」駅下車　徒歩 10 分
http://www.nanzan-boys.ed.jp/keiro/#access

＊～＊

◆カウントダウン募集中!!◆

（10/19 時点で、あいち学童保育研究集会まであと139日です!!）

「あいち学童保育研究集会」当日までの
カウントダウンをホームページへアップしていきます。
＊日常の中にある数字を使う
＊何かで数字を作ってみる
＊人で文字を表現、など、なんでも OK です!!
みなさんからのさまざまなアイデアをお待ちしています!!

◆事務局長より◆

豊橋の鷲野です。
昨年に引き続き、研究集会に関わらせていただく事になりました。
今年の研究集会は『例年以上に特別な意味を持つものにしなければいけない』と思っています。
来年の「あいち全国研」へつなげていくために、この研究集会を造り上げる人たちの「想い」を大切にしたいと考えます。私たちの地元「あいち」で、学童保育をみんなで考える集会として、研究集会はどうあるべきか。
どうしたら参加者が「来てよかった」「仲間としての絆がりを深められた」と感じられるものにできるか。
より多くの皆さんと共有し、考える事ができれば、実行委員会としては『成功』したと言えると思います。

◆実行委員紹介◆　＊掲載は 50 音順です。

お名前	地　域	立場	参加回数	ひとこと
鈴木 寛典	昭和区	保護者	初参加	好き嫌いはほとんどありません。でも、らっきょうだけはどうしても…。美味しく食べられる方法ないですかねぇ??
田中 勝美	緑区	保護者	2 回	子どもの頃はチーズとひじきが苦手でした。 今は大好きです。
丹下 恭子	昭和区	保護者	1 回	小学生の頃は「あんこ」が苦手でした。 しかし実家が寺なので、いただきもののお茶菓子は主に饅頭…。ちっ。 ある日、姉が「アナタが饅頭苦手なのは、3 歳くらいの時にカビた饅頭を食べて吐き出したから。」という衝撃の事実を暴露し、もしやと思い恐る恐る食べてみると美味しい! 古い饅頭にはくれぐれもご注意を。。。
堀内 藤子	緑区	保護者	初参加	珠算試験に合格したら、回転ずしごちそうするわ～と約束した。娘(小6)は、本番に弱く(?)2 回流れた。試験は年に3回しかない。3 度目の正直で1年ぶりの回転ずしを満喫したい～～～。
鷲野 健一郎	豊橋市	保護者 OB	複数回	「すき焼き」。これを嫌いな人は皆無だと思いますが、鷲野は10歳位までは食べたくないモノでした。何が嫌だったかと言うと、多分、お肉の脂身。お正月などに親戚一同が集まる機会にすき焼きが供される訳ですが、「けんちゃん(私の事)はお肉いらないの?」と、親戚のおばさんに不思議がられました。「お肉、お肉」と子どもたちが騒ぐ中で、焼き豆腐とシラタキしか食べなかった子どもは、大人から見ると偏食の激しい子だ、と思われていたかもしれません。肉の油身が醸し出す甘味と旨みを、子どもであるが故に味わうすべを持たなかった幼少の頃。今では大抵のものを「おいしい」と感じられる我がカラダと、うまいものが溢れ、味わう事の出来る社会に感謝しきりです。

＊～＊～＊～